



昭和28(1953)年、13号台風がこの地域に上陸  
死者16人、重軽傷者777人、  
全壊・流出・床上浸水は4,000棟以上  
まちの姿は変わり果てました

漁船が流れ着いた一色中学校。当時は現在の一色町  
公民館の付近に位置しており、内陸まで浸水した

水害から身を守る

## 犠牲者ゼロを目指して

昭和28年9月25日、13号台風がこの地域に襲来。満潮と重なったこと  
もあり、一色地区では51か所の堤防が決壊し、まちは一夜で水に浸かり  
ました。災害の教訓を私たちは忘れてはいけません。過去の体験から水  
害への備えを考えます。

問危機管理課 (☎65・2137)

当時は一色高校の1年生でした。夕方には雨が強くなり、停電。情報が全くない上に、真っ暗で何も見えなかったため、気付いた時には家が浸水していました。急に周りが静かになり、雲の切れ間から月が煌々と輝いているのに気付きました。台風の入ったのです。40〜50分くらい静かな状態が続きました。台風の目を外れると、すさまじい西からの烈風に襲われました。全ての音が消され、とても怖かったのを覚えています。台風が去った後、わが家には大量のごみが流れ着きました。食料や水の確保が優先で、流れ着いたごみの処分は後回しでした。



気が付いたら浸水

(松井さん)

あの日の記憶を忘れない  
松井浩さん、新實守さん、柴田やよいさん(いづれも一色町)は、13号台風の恐ろしさを後世に伝えようと活動しています。被害の様子を記録に残さねばならないと思い、写真を取り続けた続けたという松井さん。その写真の一枚一枚が私たちに強く語りかけます。

# この記録を残さないと… 夢中でシャッターを切った



1



2



3



4

1 / 半壊した造船所（一色漁港付近） 2 / 線路に海水が侵入した三河一色駅構内 3 / 三河一色駅前  
で船を使い、避難する人々 4 / 漁船と護岸が崩壊した旧魚市場 5 / 松井さん宅。流れ着いたごみが  
片付け終わったのは10月末ごろ



5

## まちの姿が一変

（新實さん）



13号台風のことは昨日のことに  
うに思い出します。学校は台風で休  
校。ローソクなどを用意して迫り来  
る台風に備えました。夕食を終えた  
ころ、玄関から奇妙な音が聞こえる  
のに気付き、様子を見に行くと、大  
量の水が家の中に流れ込んでしま  
した。一番高いときの水位は、自分  
の首くらい。小さい弟と妹を、急いで  
タンスの上ののせ、とにかく高いと  
ころに避難させようと必死でした。  
夜が明け、様子が分かり、がくぜ  
んとしました。どこまでが港で、ど  
こからが海か分からないほど、水が  
全てを飲み込み、今まで育ってきた  
まちはそこにはありませんでした。

## 今までで一番怖かった（栗田さん）

家が引きちぎられるように水に飲  
み込まれていく様子は今までで一番  
恐ろしい光景でした。水は全てを流  
して行ってしまいました。台風の被  
害で堤防が決壊。いくら掃除しても  
満潮になるたびにごみが流れ着き、  
片付けが追いつきませんでした。家  
族は全員無事でしたが、父親が出掛



### 『あの日の災害を語り継ぐ』

松井さんと新實さんが当時の様子をまとめた冊子。多くの人に災害の恐ろしさを知って  
もらいたいと自費で作成し、無料で配布中。詳しくは松井さん（☎72・8353）へ。

「災害を自分事に考えていない人  
が多いのではないかと感じる」。新  
實さんは、悔しさをにじませます。  
私たちは過去の教訓を未来の対策に  
つなげることができません。少子高齡  
化が進む中、日頃から地域のつな  
がりを深め、個人だけでなく地域で災  
害に備えることが重要です。



けると、もう戻って来ないのではな  
いかと不安でした。全てを水に流さ  
れ、食べるものが少なく、サツマイ  
モばかり食べていました。学校が再  
開したのは40日後。友達や先生が無  
事であるのかずっと心配で、クラス  
メイトの顔を見た時に、とても安心  
したので今もしっかり覚えています。

# 見守りの輪で備える

災害時、あなたは自力で逃げられますか。あなたの周りに自力での避難が難しい方はいませんか。逃げ遅れてしまう人の多くが、高齢者や体の不自由な方など、避難に支援が必要な方たちです。一人でも犠牲者を出さないために、家族や地域で話し合い、いざというときにスムーズに避難できる体制を整えましょう。



## 犠牲者ゼロを目指して

災害が起きたとき、消防や警察などは同時に全ての現場に向かうことはできません。全員無事に避難するには、日頃から地域の皆さんで協力し、災害のリスクや避難場所、避難のタイミングを把握することが必要です。支援が必要な方の避難方法をあらかじめ話し合い、地域の実情を反映させた計画を決めておくください。危機管理課の職員が計画の作成を手伝います。気軽に相談してください。

災害時に適切に避難行動できるよう、日頃から隣近所で声を掛け合うなど、良好な関係づくりをしておきましょう。

## 福祉避難所

福祉避難所とは、要配慮者のうち特に指定避難所では生活が困難な方が安心して生活できる施設です。介護老人福祉施設など、民間の社会福祉施設の協力で、市内には36か所の福祉避難所があります。

福祉避難所は、施設の安全確認や人員の確保など、受け入れ体制が整ってから、必要に応じて開設されます。まずは最寄りの指定避難所に避難し、身の回りの安全を確保してください。福祉避難所に指定されている施設は危機管理課にお問い合わせください。市ホームページでも確認できます。

## 災害は他人事ではない。協力体制の確保を

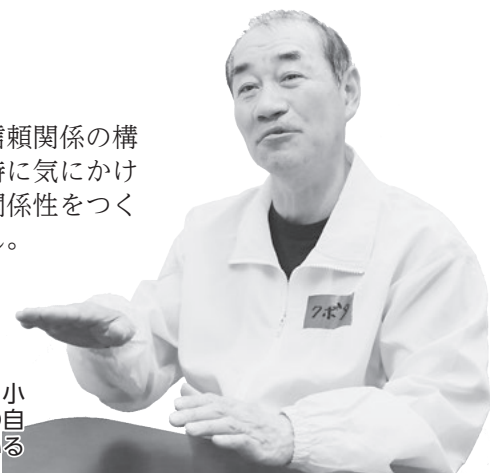
適切に備えれば、水害から命を守ることができます。ハザードマップがあることや、自分の住んでいる地域の危険性、要介護者など支援が必要な人がいることを知らない人が多いと感じます。各自でハザードマップを確認することはもちろん、地域の危険性を「自分事」として考えられるかで、行動に差が出ます。

防災には自分の命は自分で守る「自助」の意識と、共に助け合う「共助」の意識

が重要。近所付き合いや、信頼関係の構築を大切にし、いざという時に気にかけておかなければなりません。

一色防災ネットワーク代表  
久保田芳道さん(一色町)

平成17年に防災士の資格を取得。小・中学校などで防災講習や地域の自主防災会向けの研修会を行っている



# 情報があなたを救う

大雨や台風接近時は、市が発令する避難情報や最新の気象情報に耳を傾け、適切に行動してください。避難所など避難に関する情報は、危機管理課や市ホーム

ページで確認できます。他にもテレビやラジオ、インターネットで最新の気象情報を確認するなど、自分から情報を手に入れるように意識してください。

## 避難情報に警戒レベルが追加！ あなたはどのレベルで避難？

避難情報を分かりやすく伝えるため、警戒レベルが追加されました。市が避難勧告などを発令する際は「警戒レベル」でとるべき行動をお知らせします。レ

ベルの数字が上がるほど、危険度が高くなります。災害時に自分たちが行動すべき「警戒レベル」を把握し、適切なタイミングで避難してください。

	発令(発表する)情報	とるべき行動	警戒レベル	危険度
市が発令	災害の発生	すでに災害が発生。命を守るための最善の行動をとる	警戒レベル5	高 ↑ ↓ 低
	避難指示(緊急)	<b>全員避難</b>	警戒レベル4	
	避難勧告		警戒レベル3	
が気象発表	避難準備・高齢者等避難開始	高齢者や障害者、小さなお子さんとその保護者など、避難に時間がかかる要配慮者とその支援者は避難開始。その他は避難準備	警戒レベル3	
	注意報	避難に備えて避難行動の確認	警戒レベル2	
	警報級の可能性	災害への心構えを高める	警戒レベル1	

## 防災アプリで最新情報を手に入れる

市の防災情報を集約したスマートフォン用アプリ「西尾市防災アプリ」を配信中。防災無線の内容や避難所の位置、ハザードマップ、AEDの設置場所が確認できます。他にも津波の浸水予想をアニメーションで確認できるなど、役立つ情報が盛りだくさん。最新情報を手に入れて、確実に安全な場所に避難できるようぜひダウンロードしてください。ダウンロードできない方は、西尾市防災メールで防災無線の放送内容を確認できます。配信を希望する方は次のアドレスに空メールを送信してください。

アドレス [bousai.nishio-city2@raidan2.ktaiwork.jp](mailto:bousai.nishio-city2@raidan2.ktaiwork.jp)



多言語で確認  
できます

## どこなら安全？ ハザードマップで確認



水害や、地震・津波など、各地域の災害の危険性を示した**ハザードマップ**を危機管理課で配布しています。市ホームページでも確認できます。自分の地域の危険性を必ず把握してください。

市ホームページは  
こちらから



## 防災無線・ホームページ・SNS

- ▶ **防災無線**…災害の発生が予想されるときに、各地域に設置されている屋外スピーカーや戸別受信機、防災ラジオから音声で情報を発信します。聞き取れなかった場合は☎0120・96・8111で内容を確認できます。
- ▶ **市ホームページ・市公式SNS**…市ホームページや市公式Facebookページ「広報にしお」、市公式Twitterアカウント「西尾市」で最新の情報を発信。また、市公式Facebookページ「にしおしからのおしらせ」では多言語に翻訳した情報を配信しています。